



七松小学校 学校だより

平成26年度
3月臨時号
尼崎市立七松小学校
校長 西井一雄

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>

《平成26年度 全国学力・学習状況調査の概要について》

昨年4月に実施しました6年生の全国学力・学習状況調査の市内の状況が、尼崎市教育委員会から発表されました。この調査は、子どもの学力や学習状況を把握し、それぞれの学校で学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的に実施されたものです。本調査で測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面にすぎません。しかし、結果をもとに、学力の向上に向けた一層の指導方法の工夫改善に努めていきたいと考えています。本校の学力調査結果は次のとおりです。

○ 小学6年生の平均正答率 (%)

教科	国語A	国語B	算数A	算数B	合計
本校	72.0	57.0	77.4	57.1	263.5
尼崎市	69.5	52.3	75.9	54.8	252.5
兵庫県	72.9	54.6	77.7	58.4	263.6
全国	72.9	55.5	78.1	58.2	264.7
全国との差	-0.9	+1.5	-0.7	-1.1	-1.2

※ Aは主として知識、Bは主として活用の問題

国語A、算数A・Bは全国平均まであと少しというところです。国語Bについては全国平均を上回る結果となりました。

尼崎市教育委員会の「平成26年度全国学力・学習調査結果報告」では、今回の調査結果から次のような傾向や課題があるとされています。

- ・「グループで調べる活動」や「友達と話し合う活動」など、学習活動に積極的に参加する授業ほど学習効果により良い影響がでている。
- ・家庭学習する児童は増えているが、更なる工夫改善で予習・復習を含めた1人で机に向かう習慣を身に付けさせることが望まれる。
- ・「新聞を読む」「ニュースを見る」といった社会への興味・関心が学力に良い影響を与えている。また、携帯電話・スマートフォン等の所持率も高いことから、使用について家庭でルールを決め、それを守らせることが大切である。

本校でも、「家で学校の宿題をしていますか」との質問に「している」と答えた児童の割合は全国平均を5ポイント以上上回っていますが、「予習をしている」「復習をしている」と答えた児童の割合は、どちらも約4ポイント下回っています。

また、新聞をほぼ毎日読んでいる児童の割合は、全国平均と同じですが、ニュースを見ている児童の割合は全国平均を下回る結果となりました。

少し気になるのは、テレビゲームや携帯電話・スマートフォンを使ったゲームなどを1日に4時間以上していると答えた児童の割合が、全国平均より5ポイント以上多い点です。これは、携帯電話・スマートフォンを持っている児童の割合が全国平均を約10ポイント上回っていることが影響しているのかもしれない。

今後は、調査結果や結果報告をもとに、グループ活動や話し合い活動をより効果的に取り入れた授業改善を進めるとともに、家庭学習や携帯電話・スマートフォンの利用方法などを含めたご家庭との連携を深め、一層の学力向上に努めていきたいと思ひます。これからも、ご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。

《学校評価アンケートについて》

保護者の皆さまにご協力いただきました学校評価アンケートの結果についてご報告いたします。

平成26年度学校評価 保護者アンケート集計(H27.1.30 集計分)

領域	評価項目	H26年度 4段階評定	昨年比	H25年度 評定	H24年度 評定
I 学校に関するもの	1 学校要覧、各種のたより、ホームページなどで、本校のめざす児童像など学校の教育方針をわかりやすく伝えている。	3.2	↓	3.3	3.3
	2 学校要覧、各種のたより、ホームページなどで、本校の特色ある教育活動や教育課題、またその具体策などをわかりやすく伝えている。	3.2	↓	3.3	3.3
	3 学校は、授業参観や行事、懇談会など保護者や地域住民との交流の機会をよく設けている。	3.6		3.6	3.7
	4 子どもの安全管理について、不審者の侵入を防ぐ対策が整っている。	3.1	↓	3.2	3.2
	5 台風や地震などの非常災害時における保護者や子どもへの緊急連絡体制や行動マニュアルが知らされている。	3.3		3.3	3.4
	6 校舎内の清掃はゆきとどいており、備品や教具は整備されている。	3.2		3.2	3.2
	7 学校は、施設や設備を有効に利用し、点検、事故防止に配慮している。	3.2	↓	3.2	3.2
	8 学校に入ると子どもの活動している様子が、その時々掲示されている。	3.4		3.4	3.5
	9 学校における子どもに関するプライバシーは守られている。	3.3		3.3	3.4
	10 保護者負担の経費は、会計報告書で明細が知らされている。	3.6	↓	3.7	3.6
	11 学校では、PTA 活動や各種委員会活動が活発である。	3.5		3.5	3.4
	12 学校は、保護者・地域住民の声や願いに応える教育を積極的に行っている。	3.2	↓	3.3	3.3
	13 ※学校は、日新中学校と連携して円滑な小中連携に取り組んでいる。(8月:小中学校 教員の意見交流会実施 11月:中学校教員の6年生授業参観 2月:小学校教員の授業参観予定 2月:6年生児童の中学校クラブ見学実施予定)	3.4		3.4	
	14 学習の内容や進度などを、各種のたよりや定期的な懇談会などによって知ることができる。	3.4	↓	3.5	3.4
	15 学級担任は、電話や連絡帳、家庭訪問などで家庭との連絡をきめ細かく行っている。	3.4	↓	3.5	3.5
	16 学級担任や教職員は、子どもの個性をよく把握し適切な評価をしている。	3.4		3.4	3.5
	17 学級担任や教職員は、子どもとよく関わっている。	3.4		3.4	3.5
	18 養護教諭や教職員に、子どもの心身の健康について気軽に相談できる。	3.3		3.3	3.3
	19 学級担任や教職員は、子どものまちがった行動は適切に指導してくれる。	3.4		3.4	3.5
	20 学級担任や教職員は、子どもの心を育てる仲間づくりに取り組んでいる。	3.4		3.4	3.4
II 子どもに関するもの	1 子どもの挨拶や、交通マナーはとてもよい。	3.0	↑	2.9	2.9
	2 子どもは、学校に行くのを毎日楽しみにしている。	3.5		3.5	3.5
	3 子どもは、児童会活動やクラブ活動に喜んで参加している。	3.4		3.4	3.4
	4 子どもは生命を大切にす心や社会ルールを守る態度が育っている。	3.2	↓	3.3	3.3
	5 子どもは、学級が楽しく仲のよい友達多いと言っている。	3.4		3.4	3.4
	6 子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	3.1	↓	3.2	3.2
III 保護者に関するもの	1 学校から送られてくるいろいろな文書などは、ていねいに読んでいる。	3.2		3.2	3.2
	2 授業参観日や懇談会などには、都合のつくかぎり出るようにしている。	3.6	↑	3.5	3.2
	3 子どものようすは、変化があればすぐ学校に知らせている。	3.1		3.1	3.0
	4 PTA 活動や地域行事には、よく出ている。	2.8	↑	2.7	2.6
	5 家庭では、家庭学習、しつけや基本的な生活習慣に注意を払って指導している。	3.2	↓	3.3	3.4
	6 学校に関わる意見や要望は、学校側にそのつど知らせている。	2.7		2.7	2.7
	7 学校でのようすを子どもと話し合う機会をもっている。	3.4		3.4	3.4
	8 登校時や下校時には外へ出て子どもたちの安全に配慮している。	2.5	↓	2.6	2.6

(文章記述について)

○臨時休業や学級閉鎖などの緊急時には、連絡メールを活用してほしい。

多くの保護者の方に急に連絡する必要ができた場合には、連絡メールは有効な手段の一つであると考えます。これまでと同様、学級閉鎖などの緊急時には、ぜひ活用していきたいと思ひます。

○ホームページや学校だより等で学校の情報や子どもたちの様子をもっと知らせしてほしい。

全体での行事などは、できるだけホームページに掲載するようにしていますが、まだまだ十分ではないと感じています。ホームページの更新や学級だよりの内容については、さらに充実を図っていききたいと思います。また、学校の行事予定につきましても、ホームページを利用して、少しでも早くお知らせするようにしたいと考えています。

○寒い時など、服装のきまりについて考えてほしい。

学校では健康で丈夫な体を作るために、年間を通じて薄着の励行を推進していますが、寒い時期には長ズボンの着用を認めています。服装については、学校生活を送る上でファッション性の高いものや華美なものは必要ないと思ひますが、時代の流れによって様々に変化していますので、子どもたちが健康で安全な学校生活を送れることを第一としながら、見直しを図っていききたいと思います。

○参観日やマラソン大会など、行事の回数や時期などを考えてほしい。

学校では、開かれた学校づくりを目指して、保護者や地域の方に子どもたちの活動の様子を見ていただけるよう、月1回以上は授業や行事が参観いただけるように計画しています。また、多くの方々に来ていただけるよう、土曜日、日曜日にも開催しています。実施時期や回数につきましては、他の計画との関連を考慮し、いただいたご意見も参考にしながら、毎年見直しを図って計画していきたいと思ひます。

保護者アンケート集計表は、4段階評定の結果です。「Ⅰ学校に関するもの」については、昨年度のポイントと同じか、0.1ポイントの下降となっています。「Ⅱ子どもに関するもの」では、挨拶や交通マナーについては0.1ポイント上昇しているものの、2項目で0.1ポイントの下降となっています。「Ⅲ保護者に関するもの」では、「2 授業参観日や懇談会などには、都合のつかり出るようにしている」と、「PTA活動や地域行事には、よく出ている。」の項目が0.1ポイント上昇しており、保護者の皆さまの学校教育への関心が年々高まっていることがわかりました。ポイントが下降している項目については、今年度の反省点とし、次年度には少しでも上昇できるよう努力してまいります。

また、文章でいただいたご意見やご感想につきましては、主に複数いただいたご意見やご質問を要約し、全体に関わることについての学校の考えを書かせていただきました。そのほかのご意見につきましても、次年度の課題として検討し、できることから対応してまいります。

【 学校関係者教科について 】

保護者アンケートの評価結果等をもとにして、学校評議員会を開催し、今年度の取り組みの成果や課題等について報告をいたしました。その時にいただいた評価を以下に示させていただきます。

1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる。[評定3.3]

職員全体での共通理解のもと、生活指導や学習指導など、同じことを全校で取り組み、学年に応じて積み上げていくことが大切である。継続して取り組んでほしい。

2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る。[評定3.3]

「あいさつ、あつまり、あとしまつ」は学校生活の基本である。日々、継続して指導することが大切である。

スマートフォンでのメールやLINEの利用などは社会問題にもなっている。学校でも指導が必要である。

3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む。[評定3.0]

食育については、出前授業などをしっかりやっている。このまま取り組みを続けてほしい。また、体力づくりにもしっかり取り組んでほしい。

4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る。[評定3.8]

スマートフォンなどの利用については、学校でも安全な利用方法について研修会等を実施する必要がある。

地域で防災マップを作成し、各家庭にも配布される予定である。専門家から、これまで気付かなかった視点での指摘もあり、学校での防災教育に利用してほしい。

5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活気に満ちた学校園づくりに取り組む。[評定3.3]

子どもたちの成長は様々である。学校、家庭、地域は、結果だけにとらわれないで子供たちをしっかりと見ていくことが大切である。

○ 教育目標[評定3.5]

現在の教育目標は、学校でのねらいをきちんと表しているもので、このままでよいと思う。

○ 研究テーマ[評定3.3]

国語は大切な教科である。これまでの積み重ねを活かして、続けて取り組んでほしい。

この1年間、保護者の皆さま、地域の皆さまには本校の教育活動に対しまして、多大なるご支援、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

今年度末の反省やアンケート結果等を踏まえ、来年度も、子どもたちの健やかな成長のために努力していきたいと考えております。これからも、ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。